

## 令和6年度 アオコ情報（新川3）

8月20日に実施した調査の結果についてお知らせします。

- フィコシアニン濃度<sup>※1</sup>は、神天橋及び新港橋でアオコレベル2相当<sup>※2</sup>でした。
- アオコが発生している地点では、植物プランクトンであるミクロキスティスが見られました。

### 1 新川のアオコレベル

- 真鍋橋でアオコレベル0相当（フィコシアニン濃度：< 5 µg/L）
- 城北橋でアオコレベル0相当（フィコシアニン濃度：< 5 µg/L）
- 神天橋でアオコレベル2相当（フィコシアニン濃度：446 µg/L）
- 新港橋でアオコレベル2相当（フィコシアニン濃度：372 µg/L）



図1 フィコシアニン濃度の分布

※1 フィコシアニン

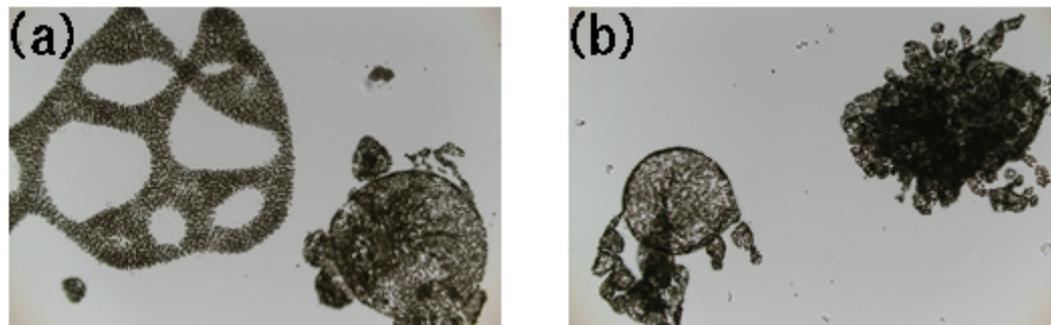
アオコの原因となる植物プランクトン（藍藻類）に含まれている色素です。フィコシアニン濃度はアオコの現存量と一定の相関があるため、アオコ現存量の目安になると考えられています。

※2 アオコレベル

アオコの発生状況を視覚的に把握するための指標です（参考：国土交通省霞ヶ浦河川事務所 HP：<http://www.ktr.mlit.go.jp/kasumi/kasumi00313.html>）。フィコシアニン濃度は、アオコレベル1で50 µg/L程度、アオコレベル2で150 µg/L程度、アオコレベル3で750 µg/L程度、アオコレベル4で2300 µg/L程度、アオコレベル5で32000 µg/L程度です（小日向ら、2012）。各レベルの写真は、別紙に掲載しています。

## 2 アオコを形成している植物プランクトン

- 神天橋 (アオコあり) : ミクロキスティスが見られ(a)、群体を形成していた。
- 新港橋 (アオコあり) : ミクロキスティスが見られ(b)、群体を形成していた。



※(a) 及び (b) とともに、点のように見える一粒一粒がミクロキスティスの細胞

● 調査結果の詳細

表 調査結果

	新 川			
	真鍋橋	城北橋	神天橋	新港橋
採水時刻	8月20日	8月20日	8月20日	8月20日
	13:40	13:50	14:00	14:20
水温(°C)	30.2	32.0	31.5	30.8
pH	8.1	7.9	8.2	8.9
EC	18	18	15	23
透視度(cm)	14	12	14	18
フィコシアニン(μg/L)	<5	<5	446	372
クロロフィルa(μg/L)	6	14	209	162
TN(mg/L)	1.70	1.79	2.13	2.39
TP(mg/L)	0.24	0.26	0.23	0.22

【アオコレベル】

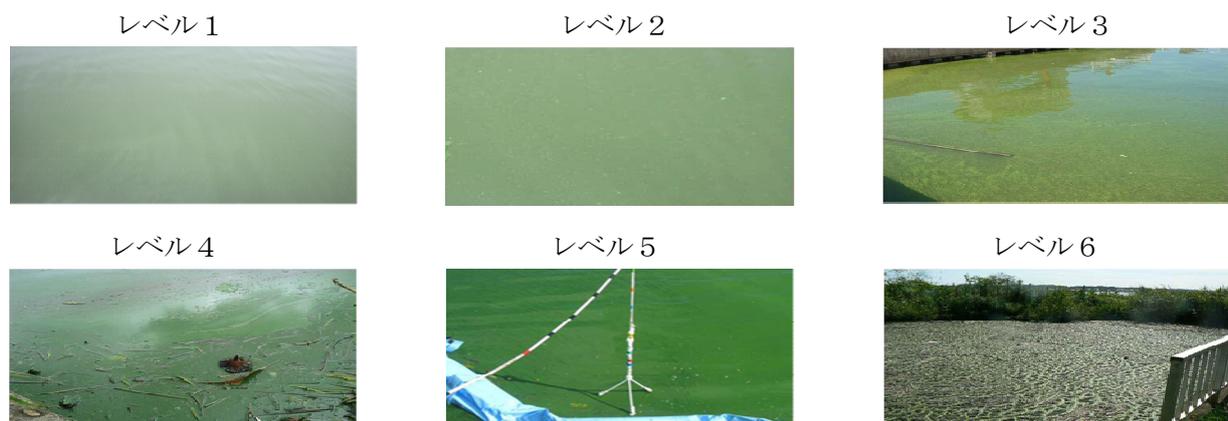


図2 アオコレベル